

いしづち

愛媛労災病院広報誌第25巻第2号

（通巻第112号）

2025年4月5日発行

発行人：院長 木戸健司

理 念

当院は働く人々のために、そして
地域の人々のために信頼される
医療を目指します

基本方針

1. インフォームドコンセントの実践
2. 安全かつ良質な医療の提供
3. 勤労者医療の推進

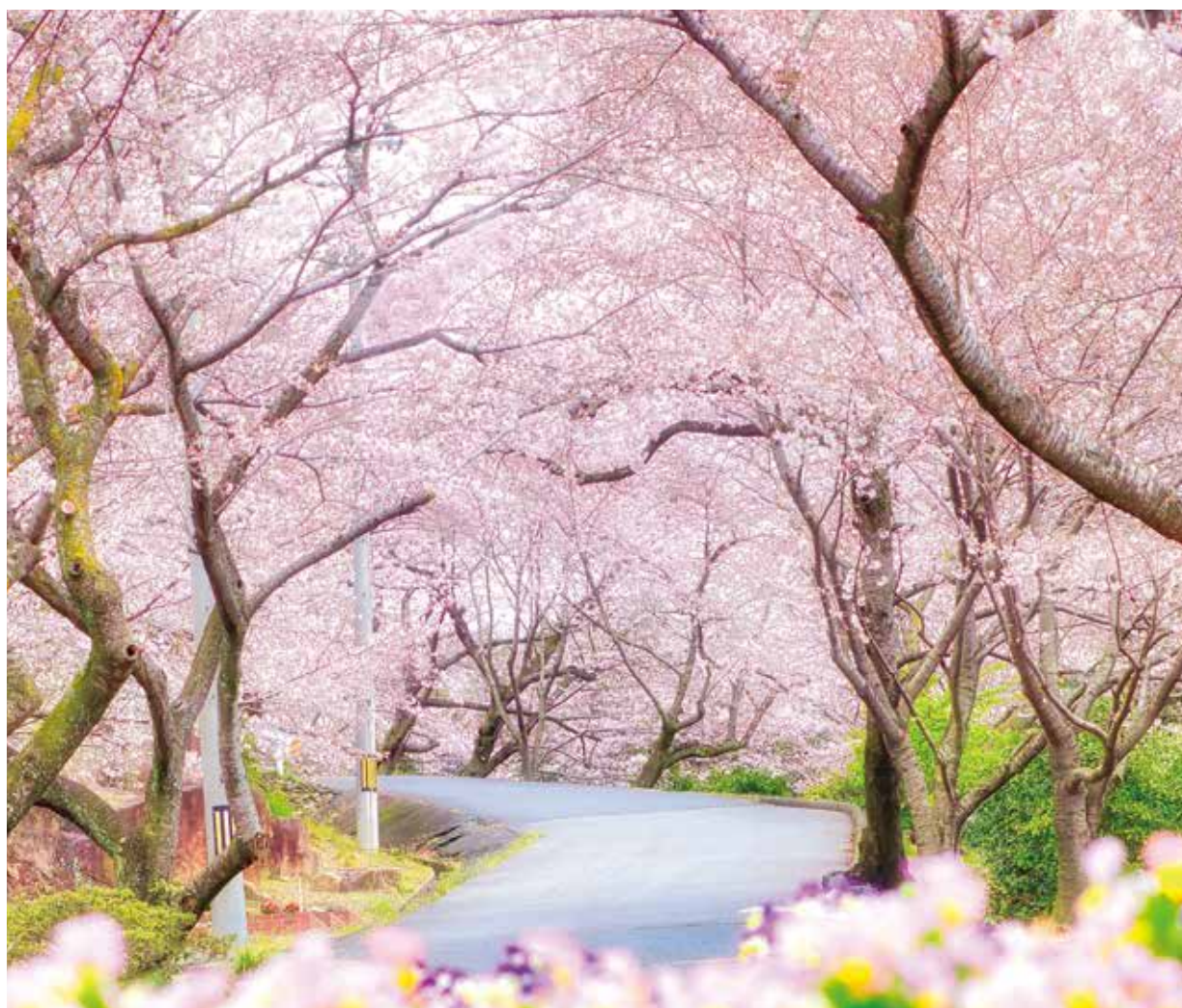
当院では、医の倫理と病院の理念に基づいた医療を積極的に推進
していくため、患者さんの基本的な『権利と責務』を、以下のよ
うに宣言します。

【患者さんの権利】

- 1) 人としての尊厳を保ちながら、良質の医療を受ける権利
- 2) 十分な説明と情報提供を受け、自らの意思で治療法の決定
やセカンドオピニオンを希望する権利
- 3) 個人に関するプライバシーを保護される権利

【患者さんの責務】

- 1) 疾病や医療を理解するよう努力する義務
- 2) 医療に積極的に取り組む義務
- 3) 快適な医療環境づくりに協力する義務

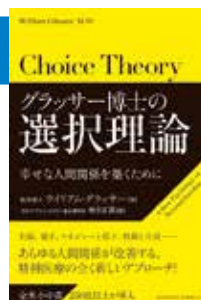


選択理論のすすめ	2
薬剤部の紹介	3
北7階病棟の紹介	3

新規採用医師の紹介	4
第11回 愛媛労災病院市民公開講座	4

選択理論のすすめ

総合診療科 新山 賢二



～より良い人間関係を作りながら組織が

成長してゆくことを両立させるために～

このマネジメントとしていかに役立つかをご紹介します。
「その人の過去でなく現在に焦点を合わせてよりよい行動を選択を支援する」1996年～グラッサー博士により提唱されました。詳細は成書に譲るとして、興味のある方は熟読してください。

選択理論は、カウンセリングの実践の中から生まれてきたため、実戦で役立つ考え方が多くあります。管理や人間関係で悩みのある方の解決の一助になれば幸いです。

今回は、その選択理論を用いたマネジメントを紹介します。各言葉の定義づけは、以下のとおりです。

○内発的動機付け…

行動は内側から動機づけられている

自分にとって最善と思われる行動を選択

○5つの基本的欲求

- ① 生存の欲求 (Survival)
- ② 愛・所属の欲求 (Love and Belonging)
- ③ 力の欲求 (Power) 達成・承認・貢献・競争
- ④ 自由の欲求 (Freedom) 解放・変化・自分らしさ
- ⑤ 楽しみの欲求 (Fun) ユーモア・好奇心・学習・成長・創造性

他者の欲求は変えることができない。

○上質世界：私たちの基本的欲求を満たすイメージの世界

3要素 i) 共にいたいと思う人

ii) 最も所有したい、経験したいと思う物

iii) 行動の多くを支配している考えや信条

選択理論とは、より良い人間関係を築くための心理学です。

つまり、すべての行動は自らの選択であると考ええる理論です。従来の心理学では、人間の行動は、外部からの刺激に対する反応であると考えられてきました。そのため、問題が発生したときの反応として、相手に対して感情をあらわにしたり、強い刺激で反応し、相手を思い通りに動かしたりして解決しようとするため、結果、人間関係は破壊されてしまい、コミュニケーションが取れなくなります。

グラッサー博士の提唱する選択理論によると、私たちがすることはすべて行動で、行動のほとんどすべて選択したものであり、人は生存、所属、力、自由、楽しみという5つの基本的欲求を満たすために、遺伝子によって内側から動機づけられているといわれています。

◆選択理論を用いたマネジメント

企業の経営管理や組織運営をマネジメントといいます。内発的動機付けを基盤としたマネジメントを選択理論ではリードマネジメントと呼びます。

◆リードマネジメントとボスマネジメント

リードマネジメントでは、社員が仕事によって基本的欲求を充足できるようにかわってゆきます。それ

により社員は内発的動機づけされ、主体的に仕事に取り組むことにより生産性が向上します。つまり、リードマネジメントを行っている上司はプロセスに焦点をあて、また、社員は最良の選択をした結果であることが前提であるため、事実を直視し、自らより良い選択をできるように促すのが特徴です。

外的コントロールを基盤としたマネジメントをボスマネジメントといいます。

ボスマネジメントの上司は、結果に焦点をあてており、本人を責めたり、脅したりすることでプレッシャーをかけて改善を図ろうとします。たとえば、『なんでこんな失敗をしたんだ』と攻撃的な言葉遣いをします。このような状態は、長くは続きません。ゆくゆくは仕事の質は悪くなり、結果として会社の業績は低下してゆきます。ただ、人間関係を重視するかどうか、成果志向が強いのか弱いのかのバランスが大切になります。

◆良好な人間関係をつくるコツ

対して人間関係を壊す致命的な7つの習慣を知れば、自然と良好な関係が築けます。その7つとは、

1. 批判する
2. 責める
3. 文句を言う
4. ガミガミ言う
5. 脅す
6. 罰する
7. 褒美で釣る

これらの行動の背後にあるのが3つの考え方です。

- 1・欠点に注目する
 - 2・自分が正しい。相手が間違っていると思っている
 - 3・相手をコントロールすることができていると思っている
- という考え方です。自分を振り返り周りの接し方を注意し、「わかってほしい」という思いから「わからせなきゃならない」という7つの致命的なアプローチをしてしまう。周りに居ませんか？結局上手いかずストレスを感じ、人間関係が悪くなってゆくのです。

これらのコツを利用することで、マネジメントが成功することになります。

1) 相手の基本的欲求が満たされるような関わり方を学ぶ

基本的欲求は、5つのタイプがあります。そのタイプに合わせてコミュニケーションをとってゆきます。

皆さんは、職場のメンバーと価値観の違いを感じた経験はないでしょうか。

選択理論では、私たちは前述した5つの基本的欲求を持っており、人により発現の仕方が異なりますし、同じ個人でもその時の能力や環境により、欲求のバランスが変わってゆくのです。

この選択理論はリードマネジメントのみならず、組織による人間関係の問題解決に役立ちます。

薬 剤 部 の 紹 介

薬剤部長 松 本 哲 哉

当院の薬剤部には10名の薬剤師が在籍し、医薬品の安全使用の取り組みを積極的に行っています。患者さんに安全で適切な薬物治療を提供するために、医師や看護師、その他の医療スタッフと連携し、日々の業務に取り組んでいます。

入院される全ての患者さんについて、持参薬の調査を実施し、服用中の薬剤を確認しています。また、すべての病棟に専任の薬剤師を配置し、患者さん一人ひとりの状態に応じた適切な薬物療法の支援を行っています。

さらに、薬剤部はチーム医療にも積極的に参加しており、感染対策、緩和ケア、栄養管理、認知症ケアなどの専門チームに所属し、それぞれの分野で薬剤師の専門知識を活かした支援を

行っています。

これからも、患者さんが安心して治療を受けられるよう、医薬品の適正使用を推進し、医療の質の向上に貢献してまいります。今後とも、薬剤部をよろしくお願いいたします。



北 7 階 病 棟 の 紹 介

看護師長 長 野 綾 子

北7階病棟は、整形外科、内科の病棟です。整形外科医師5名、内科医師2名、看護師23名、看護補助者3名でチーム医療を推進しています。

整形外科は、四肢骨折・胸椎・腰椎椎体骨折・大腿骨近位部（頸部・転子部）骨折などの外傷に加え、椎間板ヘルニア・脊柱管狭窄症の手術、変形性膝・股関節症の人工関節置換術なども行っています。

内科は、主に糖尿病患者の血糖コントロールをはじめ、電解質異常、栄養失調、肺炎などの入院患者の治療や指導にあたっています。

近年は、高齢でハイリスクな患者さんに対し手術をすることが多く、合併症に注意する必要があるとともに、独居や認知症を有する患者さんも増えてきており、MSWや退院支援調整看護師と連携し、早期から退院支援を行っています。また、転倒したことで大腿骨近位部骨折をされた患者さんには、二次性骨折予防の取り組みとして、医師・リハビリ・放射線技師・薬剤師・

栄養士・外来看護師（骨粗鬆症マネージャー）と連携し患者、家族指導も行っています。

当院のミッションである勤労者医療を推進するために、勤労者の方が受傷し入院した場合、両立支援コーディネーターが中心となり、復職に向けて医師・リハビリと協働し安心して職場復帰していただけるよう企業連携にも取り組んでいます。

今後も様々な職種と連携し、患者さんが安全に入院生活を送り、安心して退院していただけるよう質の高い看護を提供していきます。



リハビリとの多職種カンファレンス風景

新規採用医師の紹介



池田 裕 暁

- 1) 診療科：整形外科
- 2) 経験年数（医師免許取得後）：13年（2012年卒）
- 3) 趣味：プロ野球観戦
- 4) コメント：2025年1月から勤務させていただくことになりました。整形外科医として患者さんの生活の質を改善できるように微力を尽くしたいと思います。一般整形外科に加えて、特に脊椎分野を専門としております。よろしくお願いします。

第11回 愛媛労災病院市民公開講座

「健康寿命をのばそう！今日から始める健康生活 ～いつまでも楽しくいたいけん～」

愛媛労災病院では、平成26年より、医療・介護と幅広い内容で、市民とともに健康について考える場を提供するという目的のもと、市民公開講座を開催してまいりました。

第11回目となる今回は、「健康寿命をのばそう！今日から始める健康生活～いつまでも楽しくいたいけん～」をテーマとし、循環器内科医師、内科医師、理学療法士、管理栄養士、保健師が講演を行いました。

多くの市民の方々にご参加いただき、大変好評のうちに終了することができました。誠にありがとうございました。

当院は、今後も医療関係機関の連携強化及び地域医療への貢献に向け、より一層努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

当日参加できなかった方やもう一度講座を聞きたい方のためにYouTubeでの配信を行っておりますので、是非ご視聴ください。

YouTube
配信中!!



健康寿命をのばそう！ 今日から始める健康生活 ～いつまでも楽しくいたいけん～

- ① 生活習慣病1 高血圧、脂質異常症編
循環器内科部長 見上 俊輔
- ② 生活習慣病2 糖尿病編
内科部長 山田 耕司
- ③ 今日からできる！動いて正そう生活習慣
理学療法士 成田 雄太郎
- ④ 生活習慣病予防のための食生活のポイント
栄養管理士 青野 晶
- ⑤ みんなで健康寿命をのばそう！
看護師 杉田 安子

休憩中にリハビリ体験を行います！

令和6年度 第11回 愛媛労災病院
市民公開講座

愛媛県立五箇地区医療センター
2025.01.25（土）開場

令和7年1月25日（土）

場所 新居浜市市民文化センター 中ホール
※駐車場の数に限りがございます。
可能な限り乗り合わせてお越し下さい。

時間 13:00～16:00
(開場 12:30～)

参加費 無料
※事前申し込みは不要です。

主催 独立行政法人 労働者健康安定機構 Johas
愛媛労災病院 TEL(0897)33-6191 内線

共催 新居浜市

広報誌編集メンバー 委員長：福井副院長 委員：篠原放射線科部長、岳田看護副部長、石原看護師長、高橋看護師長補佐、大成主任薬剤師、小川主任作業療法士、今村管理栄養士、後藤診療放射線技師、井上臨床検査技師、稲富総務課長、中嶋総務課員、岸本会計課員、藤岡総務課員、池上総務課員、那須医事課員